

企画総務部

○Nuclear Export of Adenovirus E4orf6 Protein is Necessary for Its Ability to Antagonize Apoptotic Activity of BH3-only Proteins

Mariko AOYAGI¹⁾, Fumihiko HIGASHINO¹⁾, Motoaki YASUDA¹⁾, Akiko TAKAHASHI¹⁾, Yukiharu SAWADA, Yasunori TOTSUKA¹⁾, Takao KOHGO¹⁾, Hidehiko SANO¹⁾, Masanobu KOBAYASHI²⁾ and Masanobu SHINDOH¹⁾
Oncogene, 22, 6919-6927 (2003)

アデノウイルスのE4orf6 癌タンパク質は、細胞質に移行してミトコンドリアのアポトーシス誘導因子 BNIP 3 及び Bik と相互作用すること、これにより、p53/p73 非依存性にアポトーシスを阻害することを示した。

¹⁾北海道大学大学院歯学研究科, ²⁾北海道大学大学院医学研究科

○北海道感染症発生動向調査について

中野道晴, 新井純理, 市原 侃, 本間 寛

北海道の公衆衛生, 29, 45-49 (2003)

当所が発信をはじめた「北海道感染症情報センター」のホームページについて、新たに開発した道内保健所管内別の感染症患者情報の自動集計・解析及び経時変化のグラフ表示を含む還元システムの内容とともに紹介した。

○動的グラフ表示と警報・注意報発令機能を組み込んだ感染症情報提供システムの開発

Computerized Database System for an Effective Usage of the National Infectious Disease Surveillance Scheme

長谷川伸作, 井上 仁¹⁾, 陶山昭彦²⁾

Shinsaku HASEGAWA, Masashi INOUE and Akihiko SUYAMA

情報管理, 46 (6), 383-388 (2003)

感染症流行の早期検知と予防を目的に、感染症発生動向調査事業で収集された情報の効果的な利用のため、インターネットを通じて情報還元するデータベースシステムを開発した。

¹⁾鳥取大学医学部, ²⁾放射線影響研究所

○時系列解析による感染症流行の長期趨勢および周期特性—感染症発生動向調査 全国および北海道（1981～2000 年）における状況—

Study on Long-term Trend and Periodicity of Epidemics of Infectious Diseases by Time Series Analysis : Statues of Hokkaido Region and Whole Japan in a Period, 1981-2000

長谷川伸作, 井上 仁¹⁾, 陶山昭彦²⁾

Shinsaku HASEGAWA, Masashi INOUE and Akihiko SUYAMA

コンピュータサイエンス, 8, 27-40 (2003)

感染症発生動向調査, 1981 年から 2000 年までの全国及び北海道の定点当り報告数について、時系列解析を行い、感染症流行の趨勢変動、周期特性を捉え、その発生傾向の把握を試みた。

¹⁾鳥取大学医学部, ²⁾放射線影響研究所

健康科学部

○Porphyrin-Induced Photooxidation of Conjugated Bilirubin

Naomi SHISHIDO¹⁾, Kenji NAKAYAMA and Masao NAKAMURA¹⁾

Free Radical Research, 37(10), 1061-1067 (2003)

タウリンが結合したビリルビンを用いて、血清中の結合型ビリルビン (BR) の光酸化機構について検討した。BR は主にポルフィリンの存在下で、可視光照射により生成される¹O₂ 量に依存して酸化されることが明らかとなった。

¹⁾Department of Chemistry, Asahikawa Medical College

○Thyroid Hormone Enhances the Formation of Synapses between Cultured Neurons of Rat Cerebral Cortex

Ritsuko HOSODA^{1,2)}, Kenji NAKAYAMA, Midori KATO-NEGISHI¹⁾, Masahiro KAWAHARA^{1,2)}, Kazuhiro MURAMOTO¹⁾ and Yoichiro KURODA^{1,2)}

Cell. Mol. Neurobiol., 23, 895-906 (2003)